学校課題解決研究報告書テンプレート

―報告書作成のすゝめ―

学校マネジメントプログラム　または　教科教育・特別支援教育プログラム　言語・文化・社会グループ

教育　太郎

**1. 問題と目的**

本ファイルは，学校課題解決研究報告書に関するテンプレートである。以下の要項を確認の上，適宜見出しをつけて1ページにまとめ，同報告書に関する担当教員に提出する。なお，***報告書は必ず本ファイルを利用して作成すること****。*

本報告書は当該年度に発刊される教育デザイン研究に「発表・報告会要旨」のカテゴリとして掲載される。そのため，指導教員に必ず内容の確認を受けてから提出しなければならない。

**2. 方法**

（1）余白，文字数・行数

本レポートの余白は上下余白20mm，左余白20mm，右余白15mmとし，全体のレイアウトは25字×47行である（本テンプレートの通り）。レポートは本ファイルを利用して作成する。

（2）フォントとフォントサイズ

ⅰ）本文（題目を含む）は「MS明朝体」，英数字等は「Times New Roman」を用いる。大見出しには「MSゴシック」を用い，太字とする。「MSゴシック」は大見出しのみに用い，それ以外の見出しは全て「MS明朝体」とする。

ⅱ）フォントサイズは，表題・副題=**13**ポイント，所属コース=10ポイント，氏名=13ポイント，本文=**10.5**ポイントとする。

（3）主題と副題

主題および副題は必ず1行で収め（主題は34文字以内）。副題は全角ダッシュ（―）で囲む。副題がない場合には，主題の下を空行とする。

**3. 見出しの種類**

見出しは大見出しを「1．」，中見出しを「（1）」とし，順に番号を付す。中見出しの下にさらに見出しを付けるときは「ⅰ）」を用いる。大見出しは「問題」や「はじめに」，「目的」等を指し，中見出しは「方法」における「調査対象者」や「調査票の構成」等を指す。

**4. 結果**

図表については，図1，表1のように一連番号を付するとともに，必ず題を付ける。図の場合は図下に，表の場合は表上にそれぞれ記さなければならない。

挿入された図表等は，校正の際に修正されることはなく，著者が作成したものがそのまま掲載される。そのため，図表内の文字等が小さくなりすぎないように留意しなければならない。***図表内の文字等が9ポイント以上となることを目安***とする。また，写真を挿入する際も，図表と同じく校正の際に修正されない。したがって，写真の挿入の際には解像度等に留意しなければならない。さらに，写真内に人物が写っている場合には，***本人が特定されないように修正***しなければならない。

図1　サンプル図

表1　サンプル表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | |  | | |
| N | Z | P |
|  | N | N | N | Z |
| Z | P | Z | N |
| P | P | P | P |

**5. 考察**

本レポートでは，参考文献および引用文献に関するリストの記載は任意とする。ただし，本文中にて先行研究を引用する場合には，必ず引用元を明記しなければならない。本文中の引用および引用文献リストの記載方法については，論文内容と最も関係のある学会等が発行する学術雑誌の慣例に従うものとする。